

日本アルコール関連問題学会

2017年9月8日(金) 第1会場(会議センター 3F 301 + 302)

9:00 ~ 10:30 基調講演

座長：樋口 進(独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)

基調講演 A History of Alcohol Research within the National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism

Kenneth R. Warren

National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, USA

10:30 ~ 12:00 教育講演1 PEL1

座長：杠 岳文(独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター)

PEL1 Screening and Brief Intervention (and Referral to Treatment) for Substance Use Disorders (and other Addictive Behaviors): What the Evidence Does and Does Not Support.

Margaret M. Murray

National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, USA

13:00 ~ 15:00 シンポジウム3(スポンサー共同シンポジウム) PS3

最新のアルコール依存症の診断と治療ガイドライン

座長：齋藤利和(医療法人北仁会 幹メンタルクリニック)

PS3-1 アルコール依存症の治療目標と治療の実際

樋口 進

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

PS3-2 アルコール依存症治療のパラダイム・シフト：診断の視点から

宮田久嗣

東京慈恵会医科大学 精神医学講座

PS3-3 アルコールに関連した内科疾患を合併する症例とその対応

田中 完

新日鐵住金株式会社 鹿島製鐵所 安全環境防災部 安全健康室

PS3-4 軽症のアルコール依存症に対する減酒治療の試み

湯本洋介、瀧村 剛、樋口 進

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 精神神経科

PS3-5 地方都市における精神疾患を併存するアルコール依存症者の状況とその対応について

白坂知信¹⁾、梶浦章弘¹⁾、岩橋香澄¹⁾、木村直友²⁾

1) 石橋病院

2) 幹メンタルクリニック

共催：大塚製薬株式会社

15:00～16:30 教育講演3 PEL3

座長：松下幸生（国立病院機構 久里浜医療センター）

PEL3 PTSD：依存との関連を踏まえて

金 吉晴

国立研究開発法人 国立精神神経医療研究センター

16:30～17:30 教育講演8 PEL8

座長：齋藤利和（医療法人北仁会 幹メンタルクリニック）

PEL8 簡易型認知行動療法実践のポイント

大野 裕

一般社団法人認知行動療法研修開発センター

2017年9月8日(金) 第2会場(会議センター 3F 303)

9:00 ~ 12:00 シンポジウム1 PS1

アルコール健康障害対策基本法シンポジウム

座長：辻本士郎(ひがし布施クリニック)
 稗田里香(東海大学健康科学部社会福祉学科)

PS1 座長 学会員の役割は？一地元自治体推進計画作りと予算化の課題をめぐって一

稗田里香^{1,2)}、辻本士郎^{2,3)}、猪野亜朗⁴⁾

- 1) 東海大学健康科学部社会福祉学科
- 2) アルコール健康障害対策関係者会議委員
- 3) ひがし布施クリニック
- 4) かすみがうらクリニック

来賓 衆議院議員、アルコール問題議員連盟

シンポジスト 武田康久(厚生労働省 精神・障害保健課長、アルコール健康障害対策統括推進官)
 真栄里仁(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 教育情報部)
 今成知美(特定非営利活動法人 アルコール薬物問題全国市民協会 代表)
 菅沼直樹(刈谷病院 副院長)
 牧戸 貞(三重県健康福祉部 障害福祉課 精神保健福祉班)
 坂田 徹(京都府アルコール健康障害対策推進会議委員、社会福祉法人京都府社会福祉協議会 福祉部長)
 大槻 元(公益社団法人全日本断酒連盟 理事)

13:00 ~ 15:30 シンポジウム4 PS4

インターネット使用障害への治療的アプローチの実際

座長：中山秀紀(国立病院機構 久里浜医療センター)
 三原聡子(国立病院機構 久里浜医療センター)

PS4 座長 インターネット使用障害への治療的アプローチの実際

中山秀紀¹⁾、牧野和紀²⁾、片上素久³⁾、菅野真由香⁴⁾、三原聡子¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
- 2) 岡山県精神科医療センター
- 3) 大阪市立大学神経精神医学講座
- 4) 祐和会大石クリニック

PS4-1 岡山県精神科医療センターにおけるインターネット使用障害の臨床

牧野和紀
 岡山県精神科医療センター

PS4-2 インターネット使用障害とその診療

片上素久
 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

PS4-3 大石クリニックにおけるインターネット障害の治療－患者の傾向と事例の紹介－
菅野真由香

祐和会大石クリニック

PS4-4 インターネット・ゲーム障害の実態と治療

三原聡子

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

15:30～16:00 教育講演4 PEL4

座長：中村正和（公益社団法人 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター）

PEL4 我が国のたばこ政策

吉見逸郎

国立がん研究センター がん対策情報センター たばこ政策支援部

16:00～17:00 教育講演7 PEL7

座長：吉見逸郎（国立がん研究センター がん対策情報センター たばこ政策支援部）

PEL7 たばこ教育講演

～酒がだめだから、せめてたばこくらいは？ 喫煙の健康影響と禁煙治療の意義と方法～

中村正和

公益社団法人 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター

17:00～18:00 教育講演9 PEL9

座長：真栄里仁（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター）

PEL9 Approach to Alcoholism in Actual OPD Field in Korea: Through Personal Experience

Sung-Gon Kim

Pusan National University, Korea

2017年9月8日(金) 第3会場(会議センター 3F 304)

9:00 ~ 12:00 ワークショップ1 PWS1

CRAFT 基礎コースワークショップ

PWS1 CRAFT 基礎コース

吉田精次

社会医療法人あいざと会 藍里病院

<ファシリテーター>

小西 友(社会医療法人あいざと会 藍里病院)

13:00 ~ 16:00 ワークショップ2 PWS2

CRAFT 発展コースワークショップ

座長：吉田精次(社会医療法人あいざと会 藍里病院)

PWS2座長 CRAFT 発展コース：CRAFTをどう臨床にいかしていくか

吉田精次

社会医療法人あいざと会 藍里病院

PWS2-1 大切な人を回復に向かわせるには～CRAFTに学ぶ家族支援の在り方～

古田和弘

一本松すずかけ病院

PWS2-2 弊院のアルコール家族教室におけるCRAFTの集団施行 実践と取り組み

齊藤栄喜

滋賀県立精神医療センター 地域生活支援部

PWS2-3 CRAFT 外来個別プログラムの導入に関する報告

上村真実

公益財団法人林精神医学研究所 林道倫精神科神経科病院

16:00 ~ 18:00 シンポジウム6 PS6

今後の依存症研究を推進するために

座長：樋口 進（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）
竹井謙之（三重大学病院 消化器・肝臓内科）

PS6-1 依存症対策の推進に係る研究について

九十九悠太
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

PS6-2 身体疾患研究から見たアルコール医科学の発展とその展望

竹井謙之
三重大学 大学院医学系研究科 消化器内科学

PS6-3 依存研究推進のために：日本学術振興会科学研究費について

廣中直行
LSI メディエンス 薬理研究部

PS6-4 依存症の拡大と今後の展望

松下幸生
国立病院機構久里浜医療センター

discussant Margaret M. Murray (National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, USA)
Kenneth R. Warren (National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, USA)

2017年9月8日(金) 第4会場(会議センター 3F 311+312)

10:00 ~ 12:00 シンポジウム2 PS2

新しい依存症支援の展開～ハームリダクション理念の導入

座長：成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)
古藤吾郎(NPO法人 アジア太平洋地域アディクション研究所)

PS2-1 ハームリダクションの基礎理解と今日の国際的動向

古藤吾郎^{1,2)}

- 1) NPO法人 アジア太平洋地域アディクション研究所(アバリ)
- 2) 日本薬物政策アドボカシーネットワーク

PS2-2 地域社会での回復支援：断薬とハームリダクションの補完的関係

上岡陽江

ダルク女性ハウス

PS2-3 地域社会での保健介入：アルコール使用とハームリダクション

阿部幸枝¹⁾、古藤吾郎²⁾、上岡陽江³⁾、成瀬暢也⁴⁾、梅野 充⁵⁾

- 1) 多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課
- 2) NPO法人アジア太平洋地域アディクション研究所
- 3) ダルク女性ハウス
- 4) 埼玉県立精神医療センター
- 5) アバリアクリニック

PS2-4 わが国の新たな依存症回復支援：ハームリダクション理念の導入

成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター

13:00 ~ 15:00 シンポジウム5 PS5

回復施設シンポジウム

座長：板倉康広(NPO法人 ジャパンマック)
横山利廣(元井之頭病院)

PS5-1 回復施設の役割と連携

土屋加代子

特定非営利活動法人 SUN

PS5-2 アルコール等依存症者の回復過程における回復契機と変容の径路
—回復支援実践報告—

柿谷 孝

立川マック

PS5-3 回復支援施設における連携の多様性

大嶋栄子

特定非営利活動法人リカバリー

PS5-4 慈友クリニックのアルコール依存症デイケアの現状報告

阿相周一、中田千尋、重黒木一、城山由紀子、中西悦子

翠会 慈友クリニック 精神科

15:00 ~ 16:00 教育講演5 PEL5

座長：葦澤博一（成増厚生病院・東京アルコール医療総合センター）

PEL5 依存症のひとは援助者に何を求めているのか

重黒木一

慈友クリニック

16:00 ~ 18:00 シンポジウム7 PS7**自助グループシンポジウム**

座長：岡崎直人（NPO 法人ジャパンマック）

佐古恵利子（NPO 法人 いちごの会）

PS7-1 AA（アルコホリクス・アノニマス）：経験と力と希望を分かち合って共通する問題を解決し、ほかの人たちもアルコホリズムから回復するように手助けしたいという共同体

AA メンバー

PS7-2 ギャマノン：ギャンブル依存症者の家族や友人のための自助グループ

GAM-ANON メンバー

PS7-3 断酒会活動によるアルコール依存症からの回復

坂元義篤

公益社団法人全日本断酒連盟

PS7-4 KAの発展と回復への効果について

KA メンバー まどか

赤城高原ホスピタル気付 KA グループ

2017年9月8日(金) 第5会場(会議センター 3F 313+314)

10:00 ~ 12:00 分科会 1 PSM1

産業分科会「職域のメンタルヘルス対策と飲酒問題」

座長：及川 孝光(医療法人社団 こころとからだの元気プラザ統括部長)

基調講演 産業保健から働く人の飲酒を考える

角田 透

杏林大学医学部名誉教授 / 前日本産業衛生学会関東地方会会長

PSM1 産業医の立場から「職域の飲酒事情 ～産業保健の現場から～」

谷山佳津子

朝日新聞東京本社産業医 / 朝日新聞社健康政策統括ディレクター

14:00 ~ 15:00 教育講演 2 PEL2

座長：村上 優(独立行政法人国立病院機構 榊原病院)

PEL2 アルコールと気分障害

松下幸生

国立病院機構久里浜医療センター

15:00 ~ 16:00 教育講演 6 PEL6

座長：澤山 透(北里大学医学部 精神科学)

PEL6 アルコール使用障害の薬物療法：現状とエビデンス

木村 充

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

16:00～18:00 ワークショップ3 PWS3**非専門家のための検査結果（血液検査、画像検査、心理検査）の読み方ワークショップ**

座長：伊藤 満（国立病院機構 久里浜医療センター）

武藤岳夫（独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター）

PWS3-1 血液検査読み方入門

谷合麻紀子

東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科

PWS3-2 脳画像読み方入門

鶴身孝介

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

PWS3-3 心理検査の読み方

三原聡子

久里浜医療センター

2017年9月9日(土) 第1会場(会議センター 3F 301 + 302)

9:00 ~ 10:00 教育講演 10 PEL10

座長：堀井茂男(公益財団法人 慈圭会 慈圭病院)

PEL10 発達障害と依存

岩波 明

昭和大学医学部精神医学講座

10:00 ~ 11:30 教育講演 13 PEL13

座長：松下幸生(国立病院機構 久里浜医療センター)

PEL13 The Recognition, Modern History, and Remaining Challenges of Fetal Alcohol Spectrum Disorders

Kenneth R. Warren

National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, USA

13:00 ~ 15:00 ワークショップ 5 PWS5

PWS5 やってみよう！ブリーフインターベンション：効果的な介入のコツ

杠 岳文

国立病院機構肥前精神医療センター

15:00 ~ 17:00 教育講演 16 PEL16

マインドフルネスとは何か —効果機序を中心に—

座長：原田隆之(筑波大学)

PEL16-1 マインドフルネスとは何か —効果機序を中心に—

越川房子

早稲田大学大学院 文学研究科

PEL16-2 アルコール依存症治療におけるマインドフルネス

美濃部るり子

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 精神科

2017年9月9日(土) 第2会場(会議センター 3F 303)

9:00 ~ 10:00 教育講演 11 PEL11

座長：宮田久嗣(東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

PEL11 脳のはたらきからアディクションを理解する：脆弱性からレジリエンスへ
廣中直行

LSIメディエンス 薬理研究部

10:00 ~ 12:00 シンポジウム 8 PS8

刑の一部執行猶予制度施行以降の薬物依存症地域支援の課題

座長：森田展彰(筑波大学)

PS8-1 保護観察対象者コホート調査と地域支援体制構築 Voice Bridges Project

高野 歩^{1,3)}、熊倉陽介^{2,3)}、松本俊彦³⁾

- 1) 東京大学大学院医学系研究科 精神看護学分野
- 2) 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野
- 3) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

PS8-2 更生保護施設における薬物事犯への支援
—その実態と新制度下での連携に関する考察—

森田展彰
筑波大学

PS8-3 民間支援団体利用者のコホート調査と支援の課題に関する研究：ベースライン調査より

嶋根卓也¹⁾、大曲めぐみ¹⁾、近藤あゆみ¹⁾、米澤雅子¹⁾、近藤恒夫²⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部
- 2) 日本ダルク・NPO法人アパリ

PS8-4 精神保健福祉センターにおける薬物依存症相談支援の現状と地域連携に関する課題
近藤あゆみ¹⁾、白川教人²⁾、高橋郁絵³⁾、森田展彰⁴⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター
- 2) 全国精神保健福祉センター長会
- 3) 原宿カウンセリングセンター
- 4) 筑波大学医学医療系

13:00 ~ 15:00 ワークショップ6 PWS6

PWS6 依存症者への援助に「動機づけ面接」を活用する

澤山 透

北里大学医学部精神科学

<ファシリテーター>

石田日富美(横浜市スクールカウンセラー)

西村 誠(相模原市中央子育て支援センター)

浦崎なつみ(駒木野病院アルコール総合医療センター)

15:00 ~ 17:00 シンポジウム11 PS11

ギャンブルシンポジウム

座長：田辺 等(北星学園大学社会福祉学部)

PS11-1 ギャンブル等依存症対策に係る施策の動向について

九十九悠太

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

PS11-2 行動嗜癖について

樋口 進

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

PS11-3 ギャンブル障害の疫学調査松下幸生¹⁾、馬場俊明²⁾

1) 国立病院機構久里浜医療センター

2) 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学

PS11-4 岡山県精神科医療センターにおけるギャンブル障害への取り組み

橋本 望、角南隆史、宋 龍平、池上淳也、佐藤嘉孝

岡山県精神科医療センター

PS11-5 ギャンブル障害の通院集団精神療法の経験

田辺 等

北星学園大学社会福祉学部

2017年9月9日(土) 第3会場(会議センター 3F 304)

9:00～10:00 教育講演12 PEL12

座長：藤田さかえ(国立病院機構久里浜医療センター)

- PEL12** 女子刑務所におけるアディクション～処罰と治療のはざまで見えること
大嶋栄子
札幌刑務支所

10:00～11:00 教育講演14 PEL14

座長：辻本士郎(ひがし布施クリニック)

- PEL14** 私とアルコール依存症医療とのかかわり
齋藤利和
医療法人 幹メンタルクリニック 精神神経科

11:00～12:00 教育講演15 PEL15

- PEL15** アルコールの体質
横山 顕
国立病院機構久里浜医療センター

13:00～15:00 シンポジウム9 PS9

依存症拠点機関事業報告&依存症専門医療機関定義シンポジウム

座長：松下幸生(独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)
松本俊彦(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

- PS9-1** 依存症拠点機関設置運営事業における全国拠点機関の活動について
真栄里仁
久里浜医療センター

- PS9-2** 薬物依存症の全国拠点としての活動
松本俊彦
国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

- PS9-3** 佐賀県における依存症治療拠点機関の取り組み
武藤岳夫
国立病院機構肥前精神医療センター

PS9-4 岐阜県における依存症治療拠点機関の取り組み

天野雄平

医療法人杏野会 各務原病院

PS9-5 大阪における依存症治療拠点機関設置運営事業について籠本孝雄¹⁾、倉橋桃子¹⁾、池田俊一郎^{1,2)}、鶴幸一郎¹⁾、唐澤克之³⁾、道本 忍³⁾、杉原亜由子⁴⁾、角 太貴¹⁾、岡本謙次郎¹⁾、粟倉康之¹⁾

- 1) 地方独立行政法人大阪府病院機構 大阪精神医療センター
- 2) 関西医科大学総合医療センター
- 3) 大阪府健康医療部保健医療室 地域保健課精神保健グループ
- 4) 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課

PS9-6 岡山県精神科医療センターにおける依存症治療拠点機関としての取り組み

橋本 望、角南隆史、佐藤嘉孝、泉川佳子

岡山県精神科医療センター

PS9-7 神奈川県立精神医療センターにおける依存症拠点機関事業の3年間の取り組み報告大曾根しのぶ¹⁾、楠山さなみ¹⁾、藤城弘康¹⁾、井上恭子¹⁾、小林桜児¹⁾、川副康成²⁾

- 1) 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター
- 2) 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

15:00 ~ 17:00 分科会 4 PSM4**看護分科会**

座長：葦澤博一（成増厚生病院・東京アルコール医療総合センター）
 阿部かおり（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

PSM4-1 アルコール看護の可能性～看護師によるアルコール啓発活動～

高田和久

一般社団法人ASK ふくおか

PSM4-2 回復者の雇用と職場内での看護師の役割について

大森民恵

医療法人 信和会 高嶺病院

PSM4-3 アルコール依存症専門病棟における看護の役割、その取り組みと課題

小泉聡子

新阿武山病院

PSM4-4 アディクション専門クリニックにおける就労訓練支援プログラム

小柴 梓

医療法人社団 祐和会 大石クリニック

PSM4-5 アルコール依存症と精神科訪問看護

佐藤栄児

訪問看護ステーションみのり杉並

2017年9月9日(土) 第4会場(会議センター 3F 311+312)

10:00～12:00 ワークショップ4 PWS4

研究計画&学会発表ワークショップ

PWS4 研究の仕方、論文の書き方 初心者向けワークショップ

樋口 進¹⁾、神田秀幸²⁾、杠 岳文³⁾、白石光一⁴⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
- 2) 島根大学医学部環境保健医学講座
- 3) 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
- 4) 東海大学医学部附属東京病院消化器内科

13:00～15:00 シンポジウム10 PS10

震災シンポジウム

座長：奥平富貴子(東北会病院)
鈴木俊博(東北会病院)

PS10-1 阪神・淡路大震災の経験から

野田哲朗

国立大学法人兵庫教育大学

PS10-2 熊本地震におけるアルコール依存症者の震災体験談

松永哲夫¹⁾、犬飼邦明¹⁾、宮崎知博¹⁾、鮫島峰子¹⁾、吉村裕子¹⁾、渡邊鮎子¹⁾、大平洋明^{1,2)}

- 1) 社会医療法人ましき会 益城病院
- 2) 宮崎大学医学部精神科

PS10-3 東日本大震災

長 純一

石巻市立病院 開成仮診療所

15:00 ~ 17:00 シンポジウム12 PS12

依存症医療で困ること～現場からの本音トーク

座長：木村 充（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）
佐藤嘉孝（岡山県精神科医療センター）

PS12-1 依存症入院中におけるアルコール再飲酒、薬物再使用への対応

黒澤文貴
神奈川県立精神医療センター 依存症診療科

PS12-2 依存症医療での葛藤

小川嘉恵
埼玉県立精神医療センター 療養援助部 依存症担当

PS12-3 依存症医療で困る事 自分の体験を振り返ってみて

千田真理子
特定医療法人群馬会 赤城高原ホスピタル

PS12-4 アルコール依存症看護の新しい“学び”と私たちの“戸惑い”

宮城 統、藤岡美樹、中尾公一、田邊友也
医療法人聖和錦秀会 阪和いずみ病院

2017年9月9日（土） 第5会場（会議センター 3F 313+314）

10:00 ~ 12:00 分科会2 PSM2

ソーシャルワーカー分科会

座長：岡崎直人（NPO 法人ジャパンマック）
永尾奈生実（赤城高原ホスピタル）

PSM2-1 一般病院におけるアルコール依存症について

平 温子
東芝林間病院 医療相談室

PSM2-2 アルコール専門プログラムのある病院の現場で～依存症者の回復を妨げる病院と地域にある『溝』とは～

田崎成美
栃木県立岡本台病院

PSM2-3 精神保健福祉センターの技術支援から見えてきたこと ～困難事例への関わり～
増田剛士

さいたま市保健所精神保健課

PSM2-4 「入職してからの様々な出来事」～地域生活を送る依存症当事者と
ソーシャルワーカーの福祉的関係性～

井上亜矢子

サポートセンターいちご

指定発言 豊田秀雄(こまごめ緑陰診療所)

稗田里香(東海大学 健康科学科)

13:00～15:00 分科会3 PSM3

座長：信田さよ子(原宿カウンセリングセンター)

PSM3 心理分科会「発達障害とアディクション～当事者研究をてがかりに」

信田さよ子¹⁾、綾屋紗月²⁾、上岡陽江³⁾

1) 原宿カウンセリングセンター

2) 東京大学先端科学技術研究センター / おとえもじて

3) 特定非営利活動法人ダルク女性ハウス

15:00～17:00 分科会5 PSM5

保健師分科会

座長：吉岡幸子(帝京科学大学医療科学部 看護学科)

北岡英子(神奈川県立保健福祉大学 看護学科)

PSM5-1 これまでの減酒関連事業の取り組みとこれからについて

田中邦久

埼玉県草加保健所

PSM5-2 アルコール依存症と自殺未遂者支援

与儀恵子

荒川区福祉部障害者福祉課 こころの健康推進係

PSM5-3 地域におけるアルコール問題への関わり

塚田 郁

さいたま市保健福祉局保健部 こころの健康センター

PSM5-4 「見る・つなぐ・動かす」ために保健師は、アルコール関連問題とどう向き合っていくか

与儀恵子¹⁾、塚田 郁²⁾、田中邦久³⁾

1) 荒川区障害者福祉課 こころの推進係長

2) さいたま市こころの健康センター

3) 埼玉県草加保健所精神保健担当

一般演題 (ポスター) プログラム

2017年9月9日 (土) ポスター会場 (会議センター 3F 315)

12:00 ~ 12:30 一般演題 (ポスター) 5 P5

テーマ

- P5-1 病院職員がアルコール自助グループへ参加することに対する思いの分析**
 小砂哲太郎¹⁾、水野 健²⁾、野村千佳¹⁾、佐藤智子¹⁾、手島正大¹⁾
 1) 医療法人社団正心会 よしの病院
 2) 神奈川県立保健福祉大学
- P5-2 当院アルコール専門病棟入院患者の入院前後の薬物療法の変化**
 荒井勇輝、塘真理子、久能亜由美、静井麻奈、松石正寛、秋坂真史、野手英史、
 久保嶋哲郎、月間秀樹、南 雅之
 船橋北病院精神科
- P5-3 各務原病院 アローグループの実践的取り組み・・・良くなるために何をすれば
 良いか？**
 澤木幾佐、天野宏一、天野雄平、木村武博
 医療法人 杏野会 各務原病院
- P5-4 物質使用障害患者の成人期注意欠陥/多動性障害 (ADHD) 特性と ADHD 特性をもつ
 割合の調査**
 吉田光司、濱 恵、豆田敬子、武藤岳夫
 肥前精神医療センター
- P5-5 各務原病院アローグループの行動実践—365日のプログラム**
 澤木幾佐、天野宏一、天野雄平、木村武博
 医療法人 杏野会 各務原病院
- P5-6 アルコール依存症のマインドフルネス—リカバリーグループの再発予防効果に
 ついて—**
 檜原広大
 心理相談室セコイア
- P5-7 アルコール依存症患者と健常者の心理的ウェルビーイングの比較**
 岩野 卓^{1,2)}、安見雅子²⁾、鈴木沙織²⁾、鶴岡敏伎²⁾、帆秋伸彦²⁾
 1) 大分大学福祉健康科学部
 2) 医療法人至誠会帆秋病院
- P5-8 医療機関を受診する患者の飲酒に対する内科医・外科医の意識調査**
 留田範子¹⁾、太田順一郎¹⁾、土器悦子²⁾、作野祐子¹⁾、岸 倫衣¹⁾、長友美妃¹⁾
 1) 岡山市保健福祉局岡山市こころの健康センター
 2) 岡山市保健所

P5-9 ギャンブリング障害の治療を通して ～導入から見えてきたもの～

酒井章憲、天野雄平、橋詰 忍、安藤まゆみ、鈴木光輝

医療法人杏野会各務原病院

P5-10 『こども・思春期相談』から見えてきたもの田淵 賀裕¹⁾、望月美智子²⁾、菲澤 博一²⁾、垣渕洋一²⁾

1) 関東医療少年院

2) 成増厚生病院：東京アルコール医療総合センター

P5-11 入院患者による ARP デイケア体験1年の取り組みの結果と課題

矢島夏子、堂蘭裕里子、杉山三記子、木村友一、宇都由樹、松尾幸子、工藤智子、佐武祐介、南 雅之

医療法人社団 健仁会 船橋北病院

P5-12 依存症を呈する者の就労とその継続に影響を及ぼす心理社会的要因に関する質的分析吉野粧子^{1,2,3)}、藤丸悦子¹⁾、中西桃子¹⁾、石井 愛¹⁾、長野安那¹⁾、廣上愛莉¹⁾、若林美樹¹⁾、長縄瑛子³⁾、大石雅之²⁾、大石裕代¹⁾

1) 株式会社 わくわくワーク大石

2) 医療法人社団祐和会 大石クリニック

3) 東京女子医科大学病院 神経精神科

P5-13 アルコール依存症者が就労移行支援事業所を利用することの有効性について

上村真実

林道倫精神科神経科病院

P5-14 ハワイにスラム街が誕生した背景の考察

西田浩基

医療法人東華会 相模湖病院

P5-15 依存症者家族・自助グループにおける『自己開示』の効用

加曾利理津子

放送大学教養学部

P5-16 アルコール関連問題啓発活動の報告～予防から治療まで～

古田和弘、坂本建太、土井崇弘

一本松すずかけ病院 ARP 運営委員会

P5-17 アルコール依存症早期支援プログラム・寺子屋の構成要素についての考察

中井邦彦、奥浜伸一、古川房予

独立行政法人 国立病院機構 榊原病院 看護部

P5-18 長谷川病院におけるアルコール依存症家族プログラムの実践～病院機能と地域での役割を踏まえて

水澤寧子

長谷川病院 医療社会事業部

P5-19 依存症者の就労支援と就労段階における課題＝マック・チャレンジサポートにおける3年間の支援と実績から＝

西山千尋¹⁾、大和田尚子¹⁾、四方美代子¹⁾、伊藤達雄²⁾、岡崎直人³⁾

- 1) NPO 法人ジャパンマック マック・チャレンジサポート
- 2) NPO 法人ジャパンマック みのわマック
- 3) NPO 法人ジャパンマック ファミリーエイド

P5-20 アンフェタミン系興奮剤の使用を対象としたハーム・リダクションについての文献検討

徐 淑子¹⁾、池田光穂²⁾

- 1) 新潟県立看護大学
- 2) 大阪大学CO デザイン・センター

P5-21 断酒会会員に共通する治療・生活環境の特徴 ～これからの地域支援に求められる視点～

西元祥雄¹⁾、渡辺大貴¹⁾、越智あゆみ²⁾、甲田 実³⁾

- 1) 特定医療法人大慈会三原病院
- 2) 県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科
- 3) 三原断酒友の会

P5-22 沖縄県宮古島市で行った節酒プログラムの取り組みと効果

下地由美子¹⁾、波名城翔¹⁾、内間梨恵¹⁾、真栄里仁²⁾、伊藤 満²⁾

- 1) 宮古島市役所
- 2) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

P5-23 社会復帰に向けた関わりについて 一本人の回復をみつめてー

山下秀徳^{1,2)}、今村仁美^{1,2)}、本田 円^{1,2)}、山口まどか^{1,2)}、城後弓子^{1,2)}、堀川百合子^{1,2)}

- 1) 医療法人 コミュノテ風と虹
- 2) のぞえ総合心療病院

P5-24 アルコール依存症患者の認知機能

常岡俊昭^{1,2)}、小野英里子^{1,2)}、中坪太久郎^{1,3)}、岩見有里子^{1,2)}、藤澤尚子²⁾、堀内健太郎^{1,4)}、近藤周康²⁾、根本ありす²⁾、稲本淳子^{1,4)}、岩波 明^{1,2)}

- 1) 昭和大学 医学部 精神医学講座
- 2) 昭和大学附属烏山病院
- 3) 淑徳大学総合福祉学部実践心理学科
- 4) 昭和大学横浜市北部病院

P5-25 入退院を繰り返すアルコール依存症患者が断酒に至った経緯の検討

鈴木沙織¹⁾、安見雅子¹⁾、鶴岡敏伎¹⁾、岩野 卓^{1,2)}、帆秋伸彦¹⁾

- 1) 至誠会帆秋病院
- 2) 大分大学福祉健康科学部

P5-26 慈友クリニックのアルコール依存症デイケアの現状報告

阿相周一、中田千尋、重黒木一、城山由紀子、中西悦子

翠会 慈友クリニック 精神科

P5-27 アルコール依存症者の復職支援におけるマインドフルネスの効果

向阪俊佑、美濃部るり子、湯本洋介、伊藤 満

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

P5-28 セルフモニタリングアプリケーションによる飲酒量・日常ストレスへの効果浜村俊傑^{1,2)}、菅沼慎一郎¹⁾、上田麻美¹⁾、下山晴彦¹⁾

- 1) 東京大学大学院教育学研究科
- 2) 日本学術振興会

P5-29 アルコールリワーク復職評価シート作成の試み ―アルコール問題を持つ休職者の復職を考える―

河西有奈、金田一賢顕、山崎茂樹

白峰クリニック

P5-30 アルコール依存症者が考える講義の理解度と実際

沼野 徹、細野圭子、清水涼子、金井千絵

久里浜医療センター 東6病棟

P5-31 自助グループに所属するアルコール依存症患者のリハビリ体験の様相山下亜矢子¹⁾、吉岡伸一²⁾、鈴木千絵子³⁾

- 1) 新見公立大学健康科学部看護学科
- 2) 鳥取大学医学部保健学科
- 3) 関西福祉大学看護学部看護学科

P5-32 社会福祉現場に潜在するアルコール関連問題とソーシャルワーク実践課題：「困ったり悩むこと」に焦点を当て稗田里香^{1,2)}、阿部尚史^{1,3)}、小仲宏典^{1,3)}、板倉康広^{1,4)}、山本由紀^{1,5)}、佐原まち子^{1,6)}、岡崎直人^{1,4)}

- 1) 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会アルコール健康障害対策基本法啓発研修委員会
- 2) 東海大学健康科学部
- 3) 新生会病院
- 4) ジャパンマック
- 5) 遠藤嗜癮問題相談室
- 6) WITH医療福祉実践研究所

P5-33 救急医療機関における医師及び看護師による酩酊者支援の現状

～高知市と四日市市の比較～

朝比奈寛正^{1,2)}、島内理恵^{1,3)}

- 1) アディクション問題を考え行動する会こうち（AKKこうち）
- 2) 医療法人 慈光会 岡豊病院
- 3) 高知大学 理学部

P5-34 アルコール依存症の看護における職務満足度を考える中村文絵¹⁾、石川葉月¹⁾、針生由美¹⁾、阿部かおり¹⁾、平山明美、金井千絵¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

P5-35 アルコール依存症における回復軸の作成

金田一賢顕、斉藤美鈴、岡部美奈子、河西有奈、山崎茂樹

白峰クリニック

P5-36 アディクション外来プログラムの取り組みについて

藤澤尚子¹⁾、近藤周康²⁾、根本ありす³⁾、高木のり子⁴⁾、米澤雅子⁵⁾、小野英里子⁶⁾、
岩見有里子⁶⁾、佐賀信之⁶⁾、常岡俊昭⁶⁾

- 1) 昭和大学附属烏山病院 作業療法室
- 2) 昭和大学附属烏山病院 精神保健福祉室
- 3) 昭和大学附属烏山病院 心理療法室
- 4) 昭和大学附属烏山病院 看護部
- 5) 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
- 6) 昭和大学医学部 精神医学講座

P5-37 12ステップ系セルフヘルプグループの効果について—日米における先行研究の比較から—

長縄洋司

ロケットペンシル

P5-38 入院ARP中における再飲酒時のルール改正の取り組み ～その1 強制退院廃止までの経過～

浅野久木¹⁾、都築恭平¹⁾、片山砂織²⁾、菅沼直樹¹⁾

- 1) 医療法人成精会刈谷病院
- 2) 医療法人成精会 メンタルクリニック アンセル

P5-39 入院ARP中における再飲酒時のルール改正の取り組み ～その2 廃止後の病棟での取り組みと今後の課題～

都築恭平¹⁾、浅野久木¹⁾、片山砂織²⁾、菅沼直樹¹⁾

- 1) 医療法人成精会刈谷病院
- 2) 医療法人成精会 メンタルクリニック アンセル

P5-40 アルコール依存症ディケアにおける歌唱プログラムの可能性 —歌うことと断酒を支えることへの関連—

長谷川美津子、金田一賢顕、森美千代、斉藤美鈴、山崎茂樹

医療法人秀山会 白峰クリニック

P5-41 「アルコール依存症治療革命」の提案

成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター

P5-42 依存症治療において大切な治療者の心得：「7つの法則」

成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター

P5-43 ギャンブル障害の保健・福祉的支援のあり方についての研究(第一報)

片山宗紀¹⁾、白川教人¹⁾、田辺 等²⁾、小泉典章³⁾、小原圭司⁴⁾、櫻井善啓¹⁾、馬場俊明⁵⁾

- 1) 横浜市こころの健康相談センター
- 2) 北星学園大学 社会福祉学部
- 3) 長野県精神保健福祉センター
- 4) 島根県心と体の健康センター
- 5) 東京大学 精神保健分野

P5-44 統合失調症患者へのアルコール問題への介入プログラム—医療観察病棟「アルコール講座」改訂における工夫—

高橋陽介¹⁾、北湯口孝¹⁾、高山輝大¹⁾、岩井邦寿²⁾、井上義之¹⁾、西岡直也¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
- 2) 独立行政法人国立病院機構小諸高原病院

P5-45 ネット依存家族に対する治療的プログラム—ネット依存家族会から—

前園 真毅、橋本琢磨

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター ネット依存治療研究部門

**P5-46 アルコール依存症の抑止要因としての広場恐怖・パニック障害：
非活性化型 2 型アルデヒド脱水素酵素に注目して**

伊藤 満、米本朋子、上野文彦、遠山朋海、湯本洋介、中山秀紀、真栄里仁、木村 充、松下幸生、樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

P5-47 鳥取県アルコール健康障害対策推進計画の策定と支援拠点機関の役割

山下陽三、林 敏明、渡辺 憲

社会医療法人明和会 渡辺病院

P5-48 アルコール依存症の治療における専門医療機関と他機関・地域との連携

岡崎直人¹⁾、小倉邦子²⁾、山本由紀³⁾、板倉康広¹⁾、横山利廣⁴⁾、野口義春⁴⁾

- 1) ジャパンマック
- 2) 聖徳大学
- 3) 遠藤嗜癮問題相談室
- 4) NPO 法人 SUN

P5-49 アルコール依存症の回復プロセスにおける回復支援施設と他機関・地域との連携

小倉邦子¹⁾、岡崎直人²⁾、山本由紀³⁾、板倉康広²⁾、横山利廣⁴⁾、野口義春⁴⁾

- 1) 聖徳大学
- 2) ジャパンマック
- 3) 遠藤嗜癮問題相談室
- 4) NPO 法人 SUN

P5-50 アルコール問題支援ネットワーク形成への参加による支援者のアルコール依存症に関する意識の変化

田中和彦

日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科(通信教育)

P5-51 歯科治療時におけるアルコール関連障害者の自律神経解析

井上裕之¹⁾、長谷則子²⁾、井出 桃³⁾、角田 晃³⁾、長谷 徹³⁾、西村 康³⁾

- 1) 久里浜医療センター歯科
- 2) 神奈川歯科大学歯学部
- 3) 神奈川歯科大学短期大学部歯科衛生

P5-53 ギャンブル障害における認知発達機能に関する検討～WAIS-IIIを中心とした心理検査結果から

古野悟志、岡田 瞳、北湯口孝、伊藤 満、小川佳子、三原聡子、佐藤 拓、松崎尊信、松下幸生、樋口 進

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

P5-54 飲酒運転実態調査 アルコール依存症とコントロール郡の比較からの考察小林由美子^{1,2)}、三井由美子²⁾

- 1) 現 長野県看護大学
- 2) 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

P5-55 東日本大震災におけるアルコール関連問題に対するソーシャルワーカーの被災地支援の取り組みと課題藤田さかえ^{1,2)}、岡崎直人¹⁾、岡田澄恵¹⁾

- 1) 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 被災地支援委員会
- 2) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター医療福祉相談室

P5-56 減酒支援に取り組んだ保健福祉従事者の課題意識と実践上の促進要因

熊澤由美子、米山奈奈子

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域生活支援看護学講座

P5-57 一般女性の飲酒習慣と飲酒理由に関する一考察渡邊結実¹⁾、吉岡幸子²⁾

- 1) 埼玉県朝霞保健所
- 2) 帝京科学大学

P5-58 「当院におけるワークブック (i-map) の活用と実際」～アンケート調査から見た効果と課題～

佐々木裕司、川添智尋、新藤勇一、喜多千鶴

特定医療法人 北仁会 いしばし病院